

国立口之津海上技術学校 学生・教員を対象とした勉強会を開催

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース（TF）」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

優秀な日本人海技者の確保にあたっては、船員教育機関の先生方や学生に業界の現状や実務に関する理解を深めてもらい、また先生方には学生の指導に生かしてもらうことが重要であることから、国立口之津海上技術学校で学生・教員を対象にそれぞれ内航海運に関する勉強会を開催した。



学生対象勉強会の様子

この「勉強会」は、人材確保 TF で内航分野の案件に対応する「内航ワーキンググループ（WG）」のメンバーが中心となって、内航業界に多くの新人船員を輩出している海技教育機構の海上技術学校（小樽・館山・唐津・口之津）、海上技術短大（宮古・清水・波方）及び海技大学の先生方や学生に、内航海運の現状や運航及び荷役の実務等についてレクチャーし、また先生方にはそれを学生指導に役立ててもらうことを主な狙いとしたもので、5 回目の開催。（学生対象の勉強会は今回が初めて）

今回は、2016 年 1 月 29 日に内航 WG の原田浩二座長（国華産業運航管理部担当部長）の



左より国華産業 原田座長、三洋海運 吉田氏、鶴見サンマリノ久保氏

他、内航 WG メンバー海運会社より吉田英司氏（三洋海運海務部海務課課長代理）、久保直輝氏（鶴見サンマリノ船舶安全本部船舶グループ海務監督）が口之津海上技術学校を訪問し、学生・教員対象に説明を行った。

学生対象の勉強会では、まず、原田座長より内航海運の現状を説明、続いて各

社の運航する船種荷役 DVD（（公財）海技教育財団製作）を使用し、荷役における重要なポイント等を説明した。その後、学生からは、「荷役、航海中に気を付けていることは？」、「荷役作業は夜間もあるのか？」、「会社に入る前にやっておいた方が良いことは？」、「部屋の広さは？」、「船内 Wi-Fi の接続状況は？」等、積極的に質問がなされ、講師らはそれぞれの質問に丁寧に対応、また挨拶、時間厳守やメモを取ることの重要性等、基本的な事を身に着けておくようアドバイスを行った。

続いて教員対象の勉強会では、原田座長より内航船員の現状も含めた内航海運の概況について各種データを交えた説明に続き、ケミカルタンカーの荷役実務について、次に吉田氏より石灰石船の運航形態について、最後に久保氏よりタンカー船荷役実務について説明がなされた。説明後、質疑応答、意見交換が行われ勉強会は終了した。

機構の学生対象勉強会は初めての試みであったが、直接学生と話すことができ、非常に有意義な活動となった。当協会は、来年度以降もこの勉強会を継続して開催していく。



教員対象勉強会の様子